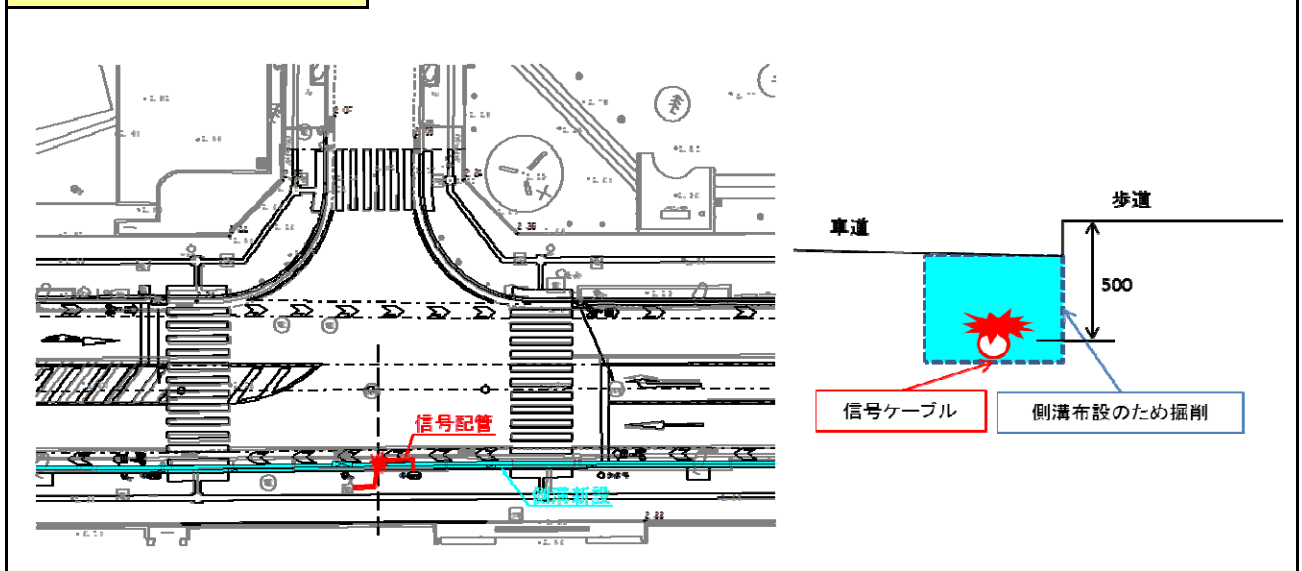


公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	平成30年12月10日(月曜日)12時30分			工事関係者区分	二次下請
事故区分	埋設物等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	信号ケーブル管破損			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	道路改良工事						
事故概要	側溝を布設するためにバックホウで掘削した際に、信号ケーブルを破損させたもの。						
事故原因	受注者は信号機移設業者と移設位置について事前に協議を行っていたが、当該管理者との事前協議や信号機移設業者との詳細な協議を怠ったことで、信号機の移設と併せて当該ケーブルも本工事に支障とならない位置に移設されていると思い込み機械掘削を行ったため。						
改善策	作業従事者を対象に、下記について安全研修を行った。 ・地下埋設物確認書に記載されていない埋設物の有無を現地で詳細に調査し、埋設物管理者と協議を行う。 ・各埋設物管理者から提供された資料と現地との照合確認を徹底する。						

事故状況図



改善状況図

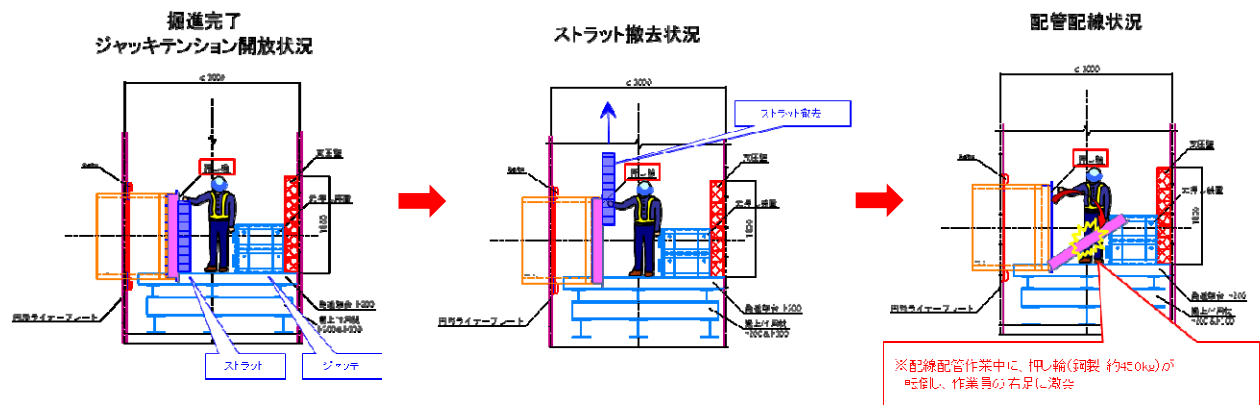


安全研修実施状況

公共工事等事故情報

事故分類	労働災害	発生日時	平成30年12月11日(火曜日) 15時45分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	その他	性別	男性	年齢	44	業種区分	土木
被災程度	右足打撲			事故レベル	I	休業見込日数	なし
工事概要	雨水管渠新設工事(推進)						
事故概要	管掘進完了後、段取替え(配管配線の繋ぎ替え・管セット)最中に押輪が転倒し、右足に接触し受傷した。						
事故原因	<ul style="list-style-type: none"> 作業従事者への作業手順の変更の周知が不十分であった。 押輪の転倒防止対策を怠った。 						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ジャッキを緩める際のストラット及び押輪の転倒防止措置を確実に行う。 日々の繰り返しの作業の中で一部の段取りが変わる場合などにおいて、朝礼時に作業手順等を再確認する。 						

事故状況図



改善状況図



ライナーからレバーブロックで控えを取る。
ジャッキを縮める作業時には必ず控えを取った状態を確認する。

上部をボルトで堅固に連結し、一体化する。



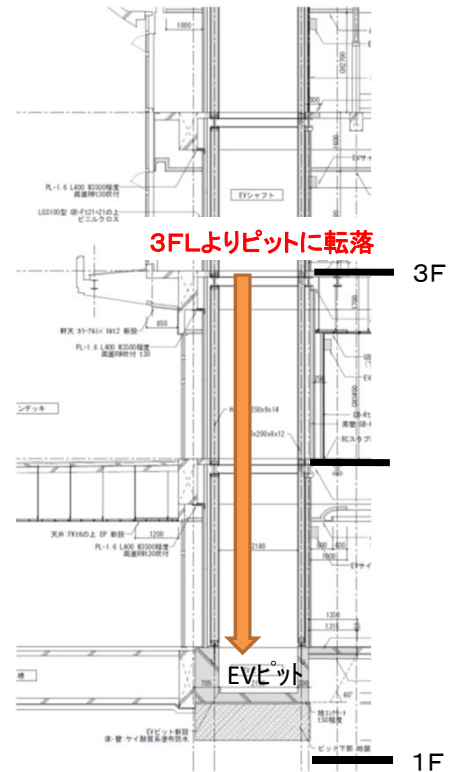
公共工事等事故情報

事故分類	労働災害	発生日時	平成30年12月14日(金曜日) 11時40分			工事関係者区分	二次下請
事故区分	墜落・転落	性別	男性	年齢	28	業種区分	建築
被災程度	臀部・頭部打撲, 背中擦り傷			事故レベル	Ⅱ	休業見込日数	20
工事概要	エレベーターシャフト新設工事						
事故概要	鉄骨建方時の揚重作業において鉄骨を2点吊りしていたところ、一方のクランプが破損して鉄骨が脱落し、その反動でもう一方のクランプとフックが離れたため鉄骨が3階から1階ピットまで落下した。 作業時に被災者はウインチのリモコン操作を担当しており、本来足場ではないデッキプレート上で安全帯を掛けずに操作を行っていたところ、落下する鉄骨がデッキプレートに激突し足場を失ったため転落したものの。						
事故原因	<ul style="list-style-type: none"> ・デッキプレート上の作業禁止を徹底していなかった。 ・安全帯の使用を徹底していなかった。 ・進入禁止措置等の落下防止対策が徹底されていなかった。 						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・足場作業床を取り外した際の速やかな復旧の徹底。 ・デッキプレート上作業禁止の徹底。 ・安全帯使用の徹底 ・朝礼等での安全確認の徹底。 						

事故状況図



デッキプレート上で安全帯を掛けずにリモコン操作を行っていた。



改善状況図



足場板復旧の徹底
開口部への侵入防止

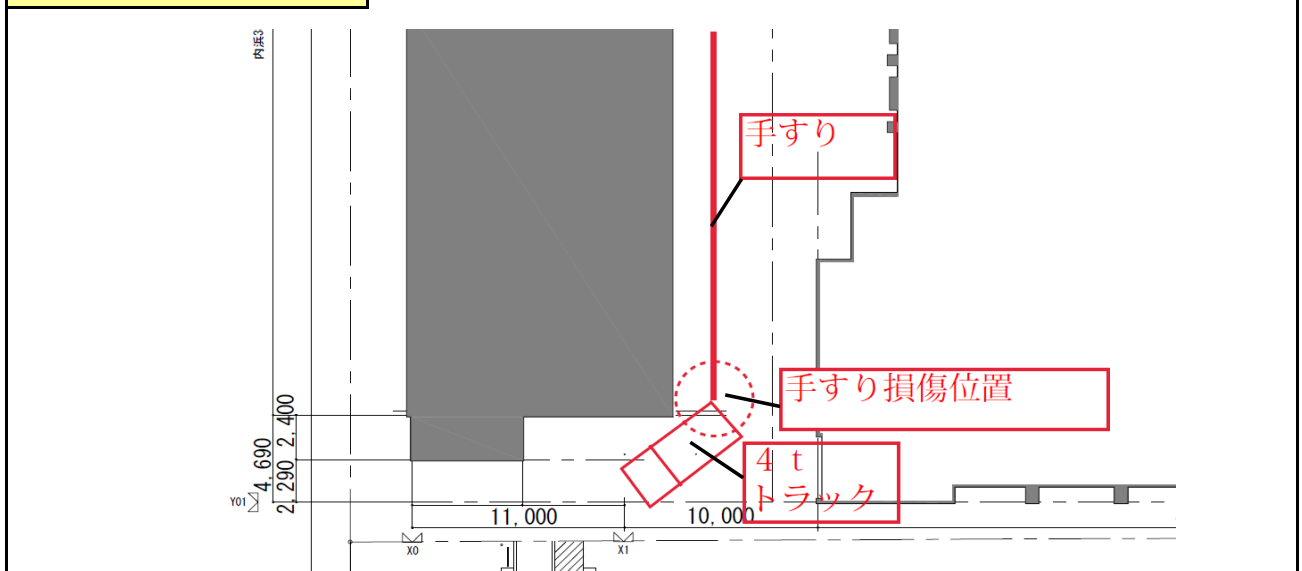


安全帯使用の徹底
(掲示)

公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	平成30年12月17日(月曜日) 9時00分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	その他の物損	性別	男性	年齢		業種区分	建築
被災程度	歩行者用手すり へこみ			事故レベル	I	休業見込日数	
工事概要	市民センター改修工事						
事故概要	仮設足場材を積み込んだ4tトラックが、後進で進入した際に、エントランス部の歩行者通路の手すりへ接触し破損させた。						
事故原因	敷地内の誘導の際に、誘導員を配置していなかったこと。 寄り付きの良さを考えて、駐車範囲外に進入したこと。						
改善策	搬出入の際は、誘導員を配置し適正に誘導を行うようにした。 安全ミーティング活動の際に、誘導の合図方法などについて確認した。						

事故状況図



改善状況図

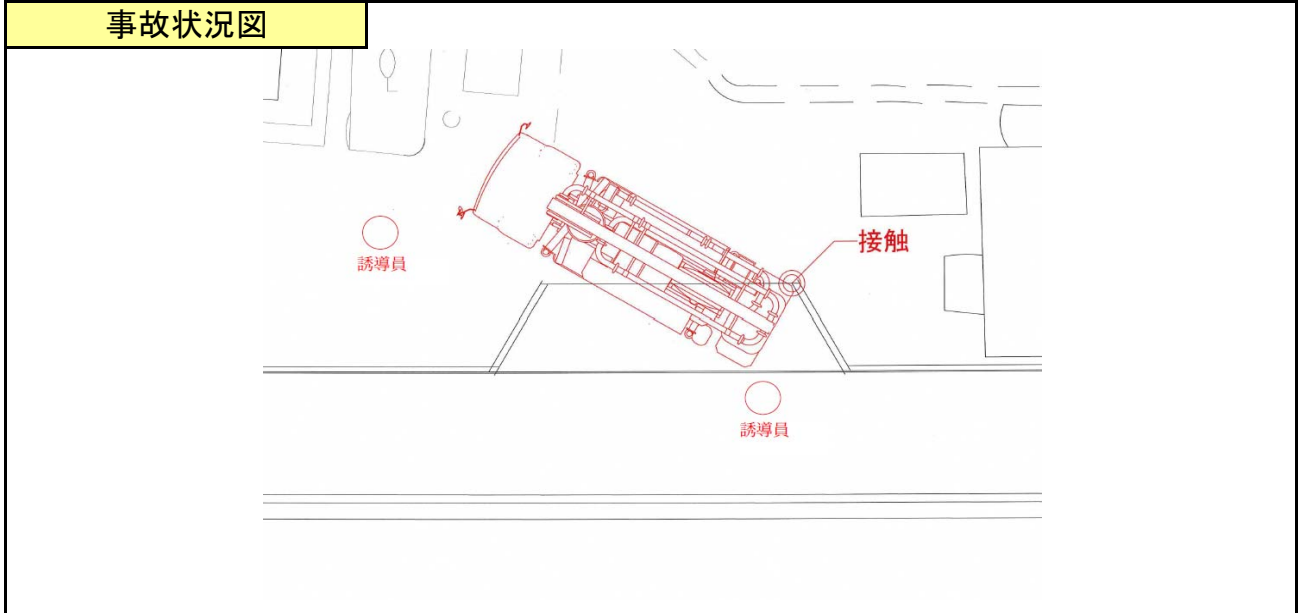


【安全ミーティング活動状況】

【誘導員配置状況】

公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	平成30年12月21日(金曜日) 13時15分			工事関係者区分	二次下請
事故区分	その他の物損	性別	男性	年齢		業種区分	建築
被災程度	門柱石材損傷			事故レベル	I	休業見込日数	
工事概要	小学校留守家庭増築工事						
事故概要	コンクリート打設を行うために、コンクリートポンプ車を出入口で付近で切り返しを行った際、出入口の門柱に接触し石材を破損させた。						
事故原因	誘導員の誘導が、運転者から見にくい位置で誘導を行った。 運転者が、周囲の状況と車両の大きさと外輪差の意識が足りなかった。						
改善策	搬出入の際は、誘導員を増員配置し安全で運転者から見やすい位置で、誘導を行うようにした。 安全ミーティング活動の際に、誘導の合図方法などについて確認した。						



公共工事等事故情報

事故分類	労働災害	発生日時	平成30年12月27日(木曜日) 9時00分		工事関係者区分	三次下請
事故区分	その他の物損	性別		年齢		業種区分 建築
被災程度	既設ガス管の損傷		事故レベル	I	休業見込日数	-
工事概要	建物解体工事					
事故概要	建物の外壁石綿撤去工事で支障となるバルコニーの手すり及び竖樋の撤去を行っていたところ、誤って既設ガス管を損傷させたもの。					
事故原因	<ul style="list-style-type: none"> ・設備配管撤去前にインフラの遮断(ガス切離工等)を行わなかったこと。 ・作業員と配管の位置の確認及び配管にマーキングをする等の作業を怠ったこと。 					
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の作業におけるリスクも取り入れた再発防止に向けた協議会を作業従事者を含め実施した。 ・日々のKY活動を当日作業する全作業従事者を集めて行い、自社以外の業者が実施する作業内容や危険作業を把握できるように周知方法の改善を行った。 					

事故状況図

全体図

ガス管誤切断による損傷箇所

拡大図

ガス管(地中からの引き込み)

〈ガス管損傷状況〉

改善状況図

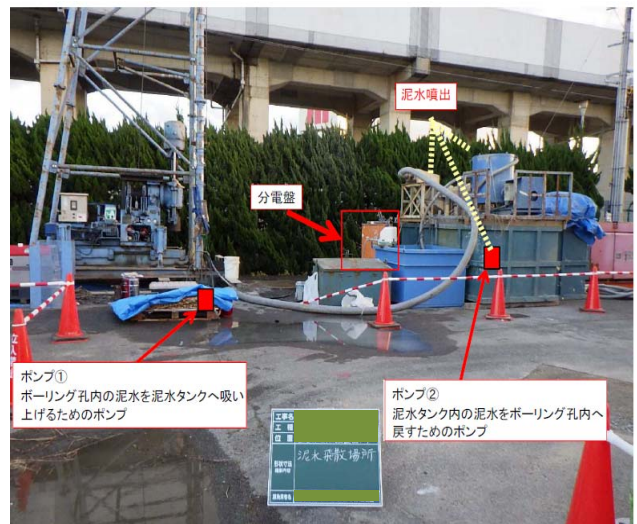
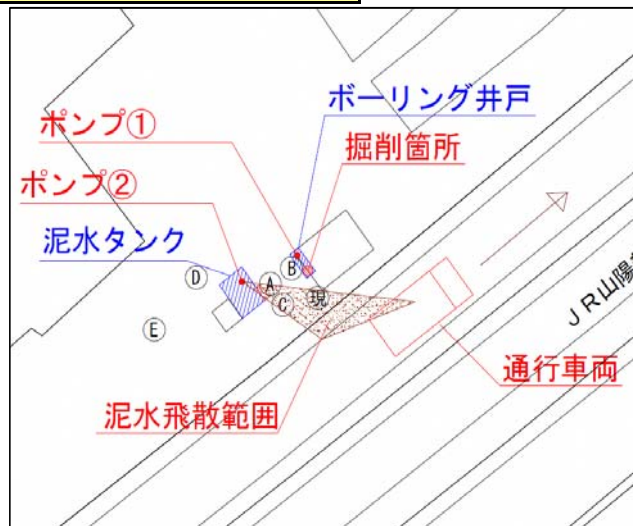
〈再発防止に向けた協議会状況写真〉

〈改善後のKY活動実施・指示状況写真〉

公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	平成30年12月27日(木曜日) 11時00分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	車両・自転車等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	通行車両車体左側後方の汚損			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	電気防食工事						
事故概要	掘進したボーリング孔内への電極設置作業で、孔内の泥水を吸い上げるため設置していたポンプの分電盤内のスイッチの操作を行った際に、泥水タンク内に設置したポンプを誤って稼働させ泥水が噴出し、通行していた車両に飛散したものの。						
事故原因	事故当日、掘進作業は無く、電極設置作業であったため、掘進作業で使用した泥水タンク内のポンプは、接続したホースを外した状態であったことと、双方のポンプの配線が分電盤に接続された状態であったことからスイッチの誤操作をしたため。						
改善策	再発防止のための安全訓練を実施し、使用しない機器類の電源を外しておくことなどの注意事項を明記したシートを分電盤に貼り付け、周知した。また、分電盤への接続配線やスイッチ部に接続先を明示するとともに色別を行い、接続先を直観的に識別できるようにした。						

事故状況図



改善状況図



注意事項を分電盤内に明記するとともに、各スイッチおよび配線類の接続先を明示



作業従事者へ再発防止策を周知